ABL支援サービスのご案内

Cosmosystem Asset Based Lending Support Service

令和元年5月 株式会社コスモシステム

目 次

•	本提案にあたって			P2
•	動産評価システム 三菱総	合	研究所のOLVとは	P3
•	コスモシステムとOLV			P4
•	三菱総合研究所のOLV	1	OLVの特長	P5
•	三菱総合研究所のOLV	2	評価の概要 1	P6
•	三菱総合研究所のOLV	3	評価の概要 2	P 7
•	三菱総合研究所のOLV	5	OLVで求める価値	P8
•	三菱総合研究所のOLV	6	レポートサンプル	P9
•	コスモシステムのサービス	1	概要	P10
•	コスモシステムのサービス	2	モニタリング	P11
•	コスモシステムのサービス	3	調査報告書サンプル①	P12
•	コスモシステムのサービス	3	調査報告書サンプル②	P13
•	コスモシステムのサービス	4	料金•納期	P14
•	コスモシステムのサービス	5	実施スケジュール①	P15
•	コスモシステムのサービス	5	実施スケジュール②	P16
•	コスモシステムの概要 1			P17
•	コスモシステムの拠点網			P18

ご案内にあたって

- ◆ 株式会社コスモシステム(以下弊社)は、昭和61年の創業以来全国に 拠点を有して担保不動産の鑑定評価を担ってきたこれまでの実績と信 頼をもとに、中小企業の多様な資金ニーズに動産を活用した融資が広 く提供されるよう、三菱総合研究所の技術の粋を集めて開発された動 産評価システムOLV(以下OLV)を用いて、ABLを活用しようとする中 小企業・金融機関をサポート致しております。
- ◆ 特に、全国に生産・物流拠点を多数保有する中小企業や、在庫状況を 早急に把握したいニーズをもつ金融機関には、当社の全国を網羅した 支店・出張所による迅速・適格なサービスを提供することが可能です。
- ◆ つきましては、貴行様にもぜひ弊社をその担保評価機関としてご利用 いただきたく、ここにご案内申し上げます。

動産評価システム 三菱総合研究所のOLVとは

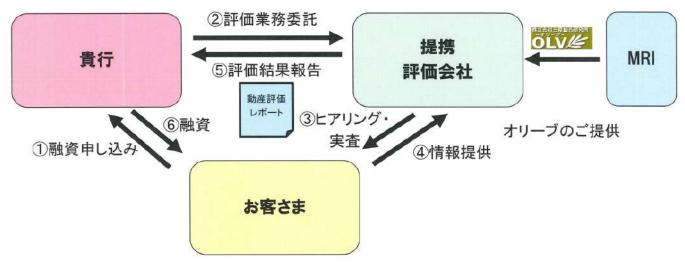
- ◆ 指標・基準が整備され取引情報の公開が進んでいる不動産ではその担保価値把握について スピーディかつ低コストで行うシステマテックな評価サービスが普及していますが、動産については三菱総合研究所の動産評価システムOLV(以下OLV)が唯一のものです。
- 三菱総合研究所のOLVとは、ABLの実施において、動産の担保掛け目を評価する際の客観性の確保及び評価の効率性の向上を目的として作成されたシステムであり、法的、評価、価値、処分、流動の5つの特性に分類された16の評価項目に基づいて動産を評価するとともに、管理、商流等の特性に分類された11の評価項目により企業を評価するものです。
- ◆ 総務省や日経BPが公表している各商品の市場価格、中古市場での実際の取引価格・取引期間を収集・蓄積してデータベース化された情報を用いて統計分析を行う評価ロジックで構成されており、評価対象及び評価者に依らず評価の公正性・客観性が確保されています。
- ◆ 評価した結果を数値化し、融資時の掛け目(簿価に対する貸出比率)を推定するために統計 モデルが実装されていますが、項目毎に判断した評価結果を迅速に数値化する仕組みを構 築することにより、評価の効率性をも向上することを可能としています。

コスモシステムとOLV

◆ 当社は、提携評価会社として、OLVによる動産評価を提供いたします。

< 三菱総合研究所OLV資料より引用 >

□ 提携評価会社を活用される場合の評価業務の流れを以下に示します。



- ①お客さまが貴行に融資の申込みをします。
- ②貴行は、契約に基づいて、MRIが提携する専門の評価会社に評価業務を委託します。
- ③評価会社が、お客さまをヒアリング・実査し、評価を行います。
- ④お客さまは担保対象の動産に関する情報を評価会社に提供します。
- ⑤提携評価会社は、オリーブを活用した動産評価レポートを貴行に提出します。
- ⑥貴行は、動産評価レポートの結果に基づき融資を実行します。

Copyright (C) Mitsubishi Research Institute. Inc.

三菱総合研究所のOLV 1 OLVの特長

< 三菱総合研究所OLV資料より引用 >

1. 動産管理システム「オリーブ(OLV)」とは



ロ 迅速かつ低コストで動産の評価を実現

動産評価シートは、昨今アセットベーストレンディング(ABL)が急速に拡大する過程で、「高額で厳密な動産評価までは必要ないけれど、スピーディにかつリーズナブルな料金で動産価値を評価したい」という金融機関の需要により生まれた、簡易に動産を評価するためのツールです。

□貸出可能金額が直接算定可能

オリーブを活用して算定される評価率に基づき、貸出可能金額をストレートに算定することが可能となります。

□ 市場で取引可能なほぼ全ての動産に適用可能

相対で取引される一部の商品を除き、ほぼ全ての動産に対して評価が可能です。

口信頼性の高い評価指標

MRIの経験と専門性に裏打ちされた評価項目とともに、各項目の評価ロジックを明確に定めることで、評価者の違いによって評価のブレが生じる可能性を極限まで排除し、評価結果の信頼性を高水準に維持しています。

ロ 豊富な使用実績

オリーブは、メガバンクを始め多数の金融機関でのABL案件で運用されています。その過程で蓄積された先例物件のデータベースに基づき、過去の評価額との整合性を維持するよう、定期的に評価モデルを更新しています。

三菱総合研究所のOLV 2 評価の概要 1

< 三菱総合研究所OLV資料より引用 >

2.「オリーブ(OLV)」の評価の概要



□ ABL案件の新規契約または契約更新に先立ち、お客さまの保有する動産の価値を評価し、貸出可能金額を算定する際に使用します。



□ 貴行のご担当者が、設定された評価項目に沿って、評価者が当該動産や企業に関する属性データを WEB画面で入力すると、動産評価レポート(評価率*を含む)が出力されます。



Copyright (C) Mitsubishi Research Institute. Inc.

三菱総合研究所のOLV 3 評価の概要 2

< 三菱総合研究所OLV資料より引用 >

2. 「オリーブ(OLV)」の評価の概要



- □ 評価項目は、「動産の特性」と「企業の特性」に分類されています。
- □「動産の特性」は、さらに法的特性、評価特性、価値特性、処分特性、流動特性の5つのカテゴリーに 分かれ、計16の評価項目により構成されています。
- □「企業の特性」は、管理特性、商流特性、その他の3つのカテゴリーに分かれ、計11の評価項目により構成されています。

【動産の特性】	
法的特性	動産・債権譲渡特例法、許認可制度等の法制度の観点から登記が可能か、処分時に転売が可能か等を評価します。
評価特性	契約期間中の在庫モニタリングや再評価を念頭に、物件の実在性確認が容易か、品種が多岐にわたり、評価が困難ではないか等を評価します。
価値特性	商品自体にブランド性はあるか、単位当たりの価値はどの程度か、品質劣化による価値の損失の懸念はあるか等を評価します。
処分特性	取引市場での処分性はあるか、用途に自由度があって販売網は広がっているか等を評価します。
流動特性	将来の需要トレンドはどうなっているのか、仕入れや販売の安定性はあるか等を評価します。
【企業の特性】	
管理特性	お客様での保管体制の観点から、必要な防犯対策は取られているか、在庫データは正確か等を評価します。
商流特性	回収・処分を想定し、お客様のもつ商流は十分な流通可能性が確保されているか等を評価します。
その他	他の金融機関等によって第三者対抗要件が主張される可能性がないかどうか等を評価します。

Copyright (C) Mitsubishi Research Institute. Inc.

三菱総合研究所のOLV 5 OLVで求める価値

◆ OLVで求める価値は、OLV (Orderly Liquidation Value 静態的処分価格)

(以下、OLVマニュアルより引用)

一般に、ABL における評価は、動産を評価する際の価値尺度としてOLV(Orderly Liquidation Value 静態的処分価格)が利用されており、本システムによる評価スキームにおいても、OLV を活用することとする。

根拠は次の点による。

- ① 想定しているシナリオと異なる処分を行う可能性がある
- ② 本システム更新の評価時点と異なる時点での 処分を行う可能性がある
- ③ 統計モデルを採用しているため、一定の統計 的誤差が発生する可能性がある

OLV 以外にも、動産の評価価格にはFMV(Fair Market Value 公正市場価格)と

FLV(Forced Liquidation Value 強制処分価格)の2 種類があるが、本システムは、OLV を前提としたデータに回帰することにより策定されているため、これらの価格を評価することはできない。

表 1 評価価格の定義

価格名	定義			
FMV(Fair Market Value、公正市場価格)	通常の取引において決定される価格で、物件の売手がなんら強制されることなく、必要な時間をかけて買手を見つけられる状況を想定した売却価格。通常、本表に掲載している評価価格の中で、最も高評価となる。			
OLV(Orderly Liquidation Value、 静態的処分価格)	債務者の破綻により商品(ブランド)の価値がある程度低下することを前提に、半年から 1 年程度の合理的な期間内に買手を見つけられる状況を想定した売却価格。時間的な余裕をもって、既存の販売チャネルや一般業者への販売、一部オークションや買取業者を利用して処分を行うことを想定している。			
FLV(Forced Liquidation Value、 強制処分価格)	債務者の破綻を前提とし、限られた期間内に対象商品を一括して買取業者やオークションなどで強制的に処分しなければならない状況を想定した売却価格。オークション・バリュー (Auction Value) 又はディストレス・バリュー (Distress Value、又は Distressed Liquidation Value) ともいう。通常、本表に掲載している評価価格の中で、最も低評価となる。			

三菱総合研究所のOLV 6 レポートサンプル

表紙

動産の特性

企業の特性

TTR 株式会社三菱総合研究所

動産評価シート

SAMPLE

クイトル	〇年〇月 新規評価	
企業名	0000株式会社	
動産程	鋼材 + 同製品	
動産名	金属製品	
OLV評価排目	00%~00%	

金融機関名	株式会社 コスモシテム	
所展	株式会社 コスモシテム	
評価者	株式会社 コスモシテム	
評価日	〇年〇月〇日	

承認機襲名	株式会社 三菱総合研究所	
承認者	スーパーユーザ	
承認日	〇年〇月〇日	

30	評価項目 項目名	評価結果	野狐の根拠	参照情報
EU.	- Series	-	A.I 证的物性	
LLL	登記可能性	=1	動産・債権譲渡等例出により登記が可能	法语者 新辛族贫重於明度 http://www.mai.go.jp/MINIJ/EGUSANT GURI/
A.I.2	販売の報約性	æ	許認可が不要で、販売に制約はなく収易 である。	日本許可一覧(ウェキペディアより)
ì	76	Til.	A.2 評価報性	
A2,1	保管及び評価の単位	単体	○○加工 △△加工の保管・管理は単本 で行われているが、フライス整及びマシニ ングセンターによる加工はロット単位のも のもある。	実を及びヒアリングで確認した。
A,2,2	品報多樣性	948	敷進の品種が○○、××、○○加工、△ △加工等、品種は多枝にわたる。	実査(在庫データの製品機類)及びLアジングで確認した。
	t-		A.3 価値等性	
A3,1	単位重量当たちの価値	ф	原材料の代金的な計列線、一般形像は1 は当975円~77円、ステンレス網接は1kg 当9308円程度であり、当社の扱う単位度 豊当りの新像は〇円大橋〇円以上と評価 する。	○○年4-6月クォーアリーⅡ延衛品情報 及びたアリングで確認した。
A3,2	プシンド性	is.	○○等特殊加工技術による製品は、乗界でも高い評価を得ているが、ブランドによ り、価値が上昇する可能性は低い。	実在及びヒアリングで確認した。
A,3,3	単係の変動性	安定	単値のトレンドが一定又は規則的なサイクルで変動する。	日頭は○年75月、○年80月、○年1-6月 平均で78月、メゲンレス調では○年255 月、○年318円○年1-6月平分で300円 (3-58、東京関盟仲間相談)○○年4-6 月ッナーナリー日経資品情報で確認した。
A3.4	品質維持性	丰変	顕板やステンレス顕版を原料とした金属加工製品であり、物理的品質の劣化は少ない。	実査で確認した。
A.3.5	購入網度	#	(仕入夫との数引駆症は月間以上と暴い。	宣都化入非文書フッイルの関示(及びた7 リングで練習した。
	2	8	A.I 処分条件	
A.U.I	市場での処分性	A	序材料の計算、類接、ステンシス鋼数等 金属加工に必要な即材は取引市場がある 総分性は高い。	実査及びたアリングで構築した。
A,4,2	用途自由费	£.	原材料の比例、銅板、ステンレス鋼板等、 企業加工に必要な的材は自由度があり始 分し思い。	実査及びピアリングで確認した。
		ii e	人5 演動解性	
A3.1	中期機能とレンド	密加	鋼材の生産量は緩和機器。の見込みで あるが、当社の金属加工需要は増加額自 にあり、解給トレンドは緩やかな地加が見 込まれる。	日経クォータリー商品情報及び大手シント クンク発行の需要・主席動向見通しとたア リングで練器した。
A.5.2	但斯斯尼亚勒性	叔	月間の高級変動幅が10%未満である。	○年1月~8月の日経ウォータリー商品情 級の各種調材の生産量と当社月次是上 高複移及びたアタングで構築した。
A.5.3	仕入れの安定性	Ф	仕入先に自然を利用して楽出するプロセ みなかが、○○国○○者の○○社から 製品を輸入するプロセスがある。	実査及びアプリングで確認した。
A3,4	販売の女定性	商	新光時に里許被者を受けたべく。かつ、外国一輸出するプロセスもない。	実査及びヒアリングで確認した。
A,5,5	在建四點層間	16	会異加工製造で注义を受けての製造版 エポ大学であり。在単回転期間は6ヶ月末 度と短い。	前筋の決算者と直近の月次試算会2〜算 白、いずれの在庫回転期間も6ヶ月未満 であった。

評価項目				Constants.
ID	項目化	評価數是	評価の価格	非恐惧程
			E_1 管理特性	
B,1,1	保存の創物性	ф	金属の材料、作件品、製品であり、担定・ 循度等物理的な保存条件や動格な保管 管理を要求されない工場、食庫で保存し ている。	実在とロケーション管理マップで検認、工 場、倉庫内の写真設計
11,2	华黄体 界对象统	+50	現在の管理方法で品質維持が十分可能 である。	実在及びヒアリングで練製した。
B,1,3	pan de la company de la compa	W.	警備会社との機械警債を総結しており込 要な評礼可靠が振られている	警備会社との機械警備総結を確認、また。 社内の施設メールが原守されている こともとアリングで審認した。
B,1,4	データの正確性・即時性	(B)	入田庫のデータは日永管理され、サンプリ ング調査で正確性し即時性を確認した	サンプリング調査で在庫データの正確性 と即時性を確認した。
BJL5	在庫状況の過去性	進正	具類帯留在庫や不良在庫及び不規則化 在庫変動は見出た54かった	実在及びヒアリングで確認した。在車デー タ表の入車日接等で具指等留保管の有 無を確認。倉庫内の保管状況の写真を前 付した。
	722 N		55. 商業等性	2000mi
B,2,1	仕入れの安定性	ill.	主要仕入先が接数あり、取引期間が全て3 年以上である	税務中告書の科目内訓書(質質金・支払 千形)及びたアラングにより練諾した。
B,2,2	販売の安定性	æ	主要販売先が接款あり、取引期間が全て3 年以上である	税務中告書の料日内訓書(売券金-受取 千郎)及びたアリングにより締託した。
B,2,1	曲流の制限	無	仕人-東克己-春高に神級の制限はない	実在及びヒアリングで確認した。
B,2,4	マーケット模収力	įW,	原材料の関係、ステントス関係等、企業 加工に必要な部材のマーケット吸収力は 高い。	実在及びピアリングで練習した。
	A V		H3 その他	
B,3,1	第3者対抗要件の発生可 単性	fm	当該動産の第三者外位要件が主張される 可能性はない。	他行・単社との在庫を利用したファイナンス契約はないことをヒアシングで練習した。
B,3,1	企業のプランド性	65	特殊加工ではその技術力に高い評価を 者でいるものの、企業のブランド他により 在資価値が上昇する可能地は低い	実在及びヒアリングで確認した。

コスモシステムのサービス 1 概要

「ABL・動産評価アシスタント・アドバイザー※」の認定者等で構成される当社のABLサポートスタッフが、全国7つの拠点で下記の業務をお引き受け致します。

◆ 評価業務

専門的な目利きを要する評価業務を、商流の把握に熟練した評価スタッフが、株式会社 三菱総合研究所の技術の粋を集めて開発された OLV を用いて、実地調査を踏まえてスピーディーに評価いたします。

◆ モニタリング業務

異常を見逃さない熟練した調査スタッフが、精緻な実地調査と詳細なヒアリングをもって、以下の基本的事項を継続的にモニタリングすることで、商流の実態を明らかにいたします。

なお、モニタリングは金融機関の要請に応じて、中途で行うことも可能です。

< 参 考 >

	融資時	6ヶ月後	1年後
評 価	0	_	0
モニタリング	0	0	0

※一般財団法人金融財政事情研究会が、「法人営業強化・ABL・動産評価コース」の試験合格者に認定。

コスモシステムのサービス 2 モニタリング

- ◆ 不動産担保と異なって「動く担保」である動産担保融資のリスク管理では、
 - ●何が(在庫種類)
 - どこに (在庫保管場所)
 - どれだけ(在庫数量・金額)
 - ●どのような状態で(保管状況)

以上の4つの基本特性を正確に把握し、 第三者の客観的な目による定期的・継続 的なモニタリングが必要です。

■モニタリングでの調査事項

- 1. 担保対象在庫の種類と内訳
- 2. 担保対象在庫の保管場所と対象外の在庫保管場所
- 3. 在庫数量・金額、及びその推移と変動
- 4. 在庫管理体制(入庫·保管·出庫)
- 5. 在庫管理システムの仕組み
- 6. 在庫と保管倉庫の付保状況
- 7. 在庫保管場所の警備・防犯体制
- 8. 保管場所の賃借料
- 9. 主要仕入先(上位数社と仕入シェア、仕入条件)
- 10. 主要販売先(上位数社と販売シェア、販売条件)
- 11. 第三者対抗要件の発生可能性の有無
- 12. 商流の変化
- 13. 設備の新設や出店等在庫の変動に影響する計画の有無
- 14. 許認可取得の状況
- 15. 個別に調査を要する事項
- 16. 業界の動向

■在庫保管場所でのサンプリング調査

- 1. 在庫品の保管場所
- 2. 保管場所別の在庫数量・金額及び保管割合
- 3. 保管場所別の在庫保管状況
- 4. 保管場所別の最大保管数量の推定
- 5. 在庫数量の季節的変動パターンの有無
- 6. サンプリング調査の実施

コスモシステムのサービス 3 調査報告書サンプル①

◆ 実地調査報告書(初回) 抜粋

商流特性

7. 実地棚卸の手順と頻度

毎年〇月に予備的な実地棚卸を行い在庫額の概算を把握している。 〇月末の決算日を基準に本格的な棚卸作業を実施し、在庫品目別の棚卸金 を確定させている。

8. 長期滞留在庫・不良在庫・返品在庫の有無とその管理

長期滯留在庫としては、○○○などの製品が、○年○月期で、○個○○千円 計上されている。

製品性能に問題はないものの、経年劣化により不良在庫化する恐れはある。 返品在庫はないことを確認した。

9. 棚卸資産の評価方法

最終仕入原価法による原価法

10. 動産に対する付保状況

工場建屋と機械設備には火災保険を付保しているが、在庫の原材料、仕掛 半製品、製品や消耗品(部材)、塗料の動産には付保していないことをヒアリ ングで確認した。

11. 主要仕入先と仕入条件(所有権移転留保取引の有無)

①主要仕入先名

〇〇商事株式会社

○○鋼材株式会社

株式会社〇〇興業

株式会社〇〇産業

②支払条件

○日総、翌月○日、○○万円超は支払手形(○○日)○○万円未満は現金 支払。○○国○○省の○○○社からの輸入仕入は、現金決済としている。 (注文時○%、納品後○%)

③鋼材商社との仕入取引で、所有権移転留保取引のないことをヒアリングで 確認した。

保管・管理の状況

16. 保管場所の状況

[判定基準] ○問題なし、×問題あり、△判定不能

	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		
施設の	状況について		
0	施設として保管上問題のある倉庫 ではないか (老朽倉庫・沮皮管理・ 衛生管理・屋外・雨瀬り等)	0	本社権は、〇〇工場様の他に、 〇〇工場、ポイラー室、〇〇室、倉庫があり、 面積は〇〇〇一㎡である。施設全体として保管 上特に問題はない。
2	屋外保管の場合は、他社の敷地等 を区分する壁や標等があり、部外 者が容易に立ち入りできないか。	0	○○加工に必要な消耗品(部材)の一部に屋外 保管も見受けられたが工場に搬入するので間 題はない。 他社の製地との壁や様はなく部外者の立入り は可能である。
3	自社工場の防犯体制は十分か。	0	前項に記載
保管·	管理の状況について		
0	現状の保管方法で在庫品の品質維 持が可能であるか。 在庫の床への直置きはないか。	0	現状の保管方法で在庫品の品質維持上問題は ない。 在庫品は直置が多いが在庫品の特性から品質 劣化等の懸念はない。
2	在庫を特定する品名・数量の表示 があり、在庫品の特定は可能か。	0	原材料や部材について個体別に晶名・規格表示 があり、在庫品の特定は可能ではあるが、部門 担当者の立会いがないと難しい。
3	ロケーション管理にルールがあり 担当者の風人的管理ではない。	0	○○加工、△△加工、□□加工工場等に分かれ ている。ロケーション管理には適さず製造加工 担当者の属人的管理になっている。
4	自社工場内で保管され、独自の在 庫管理システムで運用されてお り、在庫検索が容易にできるか。	1	在庫データに入庫日・単価・金額の記載がなく、 実地調査当日の在庫金額が把握出来ない。
6	工場内は在庫品が整理整頓され清 掃が行き届いているか。	0	○○加工工場であり、各種部材、機械設備など で雑然とした印象は受けるが特段の支障は見 受けられなかった。
6	適切な作業通路が確保され、在庫 の搬出入に支障はないか。	0	適切な作業通路が確保され、在庫の搬出入に支 障はない。
Ø	自社保管の預かり、他社在庫があ る場合、自社在庫と分別され表示 により判別できるか。		他社在庫や預かり在庫はないが、○○加工に必要な支給材料があり、自社在庫との分別による 判別は困難である。

保管・管理の状況等の写真

12	屋外保管の在庫品 ・ガスポンペで工場内に搬入する前 の状況
13	当社事務所主流入口 ・セキュリティ 左側上部に〇〇のステッカーが貼 られている。
14	在庫品の保管状況 ・○○○○の保管状況
15	在庫品の程管状況 ・○○○加工の機械設備

8 12

コスモシステムのサービス 3 調査報告書サンプル②

実地調査報告書(中間) モニタリング時にご報告 抜粋

調査結果要約

器査の	

夹炮調査日	平成○年○月○日 (13:00 ∼	14:30)
夹均調宜場所	〇〇〇〇ロジスティクス物	00#00#00	MO-0-0
(立会者)	当社 〇〇センター		00 00 #
(弊社担当)	ABLサポート事業部		00 00

施設の状況については、問題となる事象はなかった。保管及び在庫管理についも問題点はなく管理 軟體も良好であった。

①表査当日は、套物から裏物商品の入れ替え時期に当たり倉庫内が類雑と思われたが、商品の味置きもなく、整理機及びペレット上に整然と整理整頓されていた。

②在庫ロケーション管理が振廊され、担当者の属人的管理は見受けられなかった。 ③在庫データと現物在庫の確認もスムーズに行われた。

在庫保管場所 (名称)		・○○○□ロジスティクス構 (北側の隅を収点として南へ○メートルの増点から四へ ○メートル及び南へ○メートル西方で区面される場所)
所在地	(所在地)	○○集○○市○○町○-O-○
在庫の種類	125	化粧品、化粧雑貨及び日用雑貨の在庫商品

施	設の状況について		
0	施設として保管上問題のある倉庫では ないか(老朽倉庫・温皮管理・衛生管 理・屋外・雨瀬り等)。	0	○○○ロジスティクス機の一部(下記)を 賃貸しており施設及び保管上の問題はない。 (北側の機を収及して南へジートルの地 点から西へ ○メートル及び南へ○メートル側方で区画される場所)
2	屋外保管の場合は、他社の敷地等を区 分する壁や標等があり、部外の者が容 易に立ち入り出来ないか。	0	屋内保管で問題はない。 也社在庫とは興製の シャッターで明確に区分されている。
3	自社及び営業倉庫の防犯体制は十分 か。	0	○○の物液倉庫で防犯体制は十分である。
(1)	(小売店舗の場合) 防犯カメラや万引 き防止層が設置されているか。	Series	小売店舗ではない。

保管・管理の状況

保	管・管理の状況について	-			
0	現状の保管方法で在庫品の品質維持が 可能であるか。 保管器や保管能に在庫を特定する品 名・数量の要求があり、在庫品の特定 は可能か。		0	現状の保管方法で在庫品の品質維持は可能で ある。	
3			0	バーコードに上り管理されている。ハンテ 端末により数量管理も容易にチェックでさ いる。	
9	自社保管の場合、ロケーション管理 ルールがあり、担当者の属人的管理 はないか。		0	シーズンによりスペースを変更するなどロ ケーション管理も徹底されている。	
0	自社工場で保管され、独自の在庫管システムで運用されており、在庫検2 が容易にできるか。	理索	0	ハンディ端末で容易に検索可能である。	
٩	工場内は在庫品が整理整頓され清掃 行き届いているか。	/j\$	0	差理整額され、臭気もなく情格されている。	
•	適切な作業適格が確保され、在他の 入出に支障はないか。	ME.	0	中央通路は十分な幅員が確保されている。 棚間通路は路面矢印により通行方向が決め れていて繁忙期にも効率よくビッキング可 となっている。	
9	自社保管の預かり・他社在庫があるも 合、自社在庫と分別され、表示によ 判別できるか。	勝り	0	他社在庫とは、銅製のシャッターで区分けされている。	
(8)	品質維持上問題となる、床への直置 はなかったか。	ήσ	0	単品管理商品は棚置き、ケース単位で出荷さ れる商品はパレット置きである。	
(1)	長期滞留在庫・不良在庫・返品在庫! の在庫は、保管場所内やデータで分類 管理されているか。		0	長期滞留在庫・返品在庫は各専用棚に整理保 管され、データで分別管理されている。	
3.	その他調査事項	-15			
00	〇〇〇ロジスティクス3階の在庫アイ ※	①当	倉庫の 社〇〇 してい	アイテム数は、約40,000点。その他2ヶ所 物前センター、②際○○○倉庫も同等の在庫を る。	
	Eと○○○○ロジスティクスの作業 利分担	入出	庫依知	ンターは、自社倉庫の○○物流センターからの を○○物准の作業員に指示、商品のビッキング ている。	
主力	・商品分野 Dビューティー商品	~7	スタイ	リング、ベースメイク、美容小物、雑賞 ボディケア、スキンケア、オーラルケア	
	②ボディケア商品	200	11 1 11	洗剤・洗濯用品、キッチン用品、住まいの	

サンプリング調査

1-1	特定した在庫品の内容① ・○月○日の在量デッタから住意に3点を 抽出し在庫確認を行った。
1-2	特定した在庫品の内容① ・ジャンコード ・ランベン ニクラド ・在庫データと現物在庫の一份を確認。
2-1	特定した在庫品の内容② ・○月○日の在庫データから任意に3点を 拍出し在庫韓級を行った。
2-2	特定した在庫品の内容② ・ジャンコード ・サムライウーマン ・在車データと現物在車の一後を確認。

コスモシステムのサービス 4 料金・納期

◆ 基本条件

	料 金 (税 別)	サービス内容	納 期	成果物
評価	300,000 円/件	実査による OLV評価	10営業日以内	・動産評価レポート ・実地調査報告書(初回)
モニタリング	150,000 円/件	実査による モニタリング	7営業日以内	・実地調査報告書(中間)

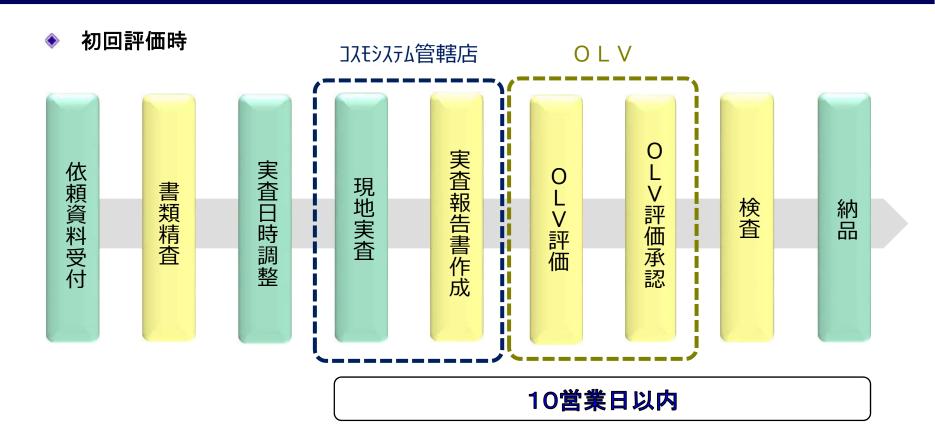
◆ 料金について

- ・下記の場合については、別途割増料金をご請求する場合があります。
 - ①、品目毎の評価を要する場合 ②、調査地点が他地点に隔たる場合

◆ | 実費について

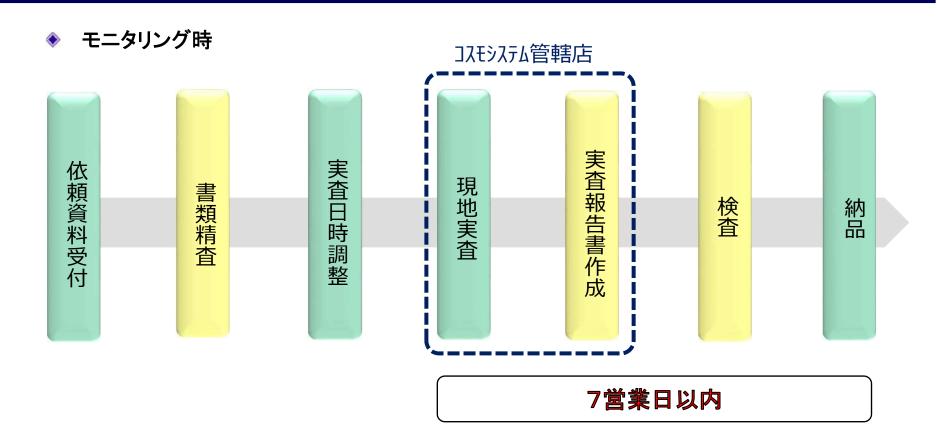
- ・調査に要した下記の費用については、別途実費を申し受けます。
 - ①、交通費 ②、宿泊費 ③、その他資料の入手に要した申請・交付等費用
- ◆ 納期について
 - ・起算日は、現地実査日とします。
 - ・実査後において評価に必要な資料が整わない場合の納期については、別途協議させていただきます。

コスモシステムのサービス 5 実施スケジュール①



- ご依頼から納品まで<u>ワンストップ</u>対応
 - ⇒ ご依頼・お問い合わせは、東京本社 A B L サポート事業部
- 全工程を弊社社員が対応 (※OLV評価承認者は三菱総合研究所)
 - ⇒ 現地実査は最寄の弊社管轄店のスタッフが対応

コスモシステムのサービス 5 実施スケジュール②



- ご依頼から納品まで<u>ワンストップ</u>対応
 - ⇒ ご依頼・お問い合わせは、東京本社ABLサポート事業部
- 全工程を<u>弊社社員</u>が対応
 - ⇒ 現地実査は最寄の弊社管轄店のスタッフが対応

コスモシステムの概要 1

< コスモシステムについて >

- 商 号 株式会社コスモシステム
- 本 店 大阪市中央区高麗橋2-6-10 新高麗橋ビル5階
- 資本金 50,000,000円
- 会社設立 昭和61年3月25日
- 代表 者 代表取締役 松川一哉

< 主な業務とスタッフ >

■ 不動産鑑定評価業務

不動産鑑定士 20名 鑑定士補助スタッフ 20名

■ 不動産調査業務

不動産調査員 30名 調査補助スタッフ 20名

■ ABL支援業務

きんざい ABL・動産評価アシスタント・アドバイザー 18名 きんざい 事業性評価エキスパート 2名 中小企業診断士 1名 損害保険登録鑑定人 4名



コスモシステムの拠点網

